

デーリー東北

2021年(令和3年)11月1日(月曜日) (14)

現代の手仕事の在り方語る



山田友子さん(中央)の菱刺しの実演を見る学生たち

菱刺し作家
山田さん
八工大で講演

八戸工業大感性デザイン学部は25日、八戸市の菱刺し作家で青森県伝統工芸士の山田友子さんによる講演を行い、同学部創生デザイン学科2年生約30人が、現代における手仕事の在り方について学んだ。

商業にデザインがどのように関わっていく

能な開発目標(SDGs)の考え方ももつながら「話した。」

商品と一緒に作る協力者の中には、子育てや介護をしながら、自宅で作業をしている人もいるといい、「今はそれぞれが自分の状況を踏まえた働き方について考える時代になっていると思う。外で働けなくても、菱刺しを通して、収入を得たり、社会とつながったりできるのではないか」と語った。

講演の後には、これまで山田さんが手掛けてきた前掛けやトートバッグを紹介したり、菱刺しの実演を披露したりした。

参加した工藤果歩さん(20)は「元々生活のために生まれた菱刺しが、今はデザインとして受け入れられていると知り、興味深かった」と話した。

(小林彩乃)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。